sessiondata.jsファイル追加の説明

セッションテーブル表示用データの作成

* ファイル名：sessiondata.js
* 作る原因：

posterdata.jsの中のデータは「ポスターがある発表」のデータである。

しかし、セッションテーブルで表示される発表は、「ポスターがある発表」だけでなく、「ポスターがない発表」も表示する必要がある。もし直接posterdata.jsを修正すると、ポスターリスト画面に影響（「ポスターがない発表」も出てくる）があるため、別ファイルとして「ポスターがある発表」と「ポスターがない発表」を全部記録することにした。

* ファイルの内容：

JSONのArrayの形で記録する。

* JSONArray構造：

[{id,posterid,sessionid,title,author},...{ id,posterid,sessionid,title,author }];

* 各スキーマの説明：
  + id：sessiondataの中の番号、１から
  + posterid：
    - 「ポスターがある発表」だったら、この値とposterdata.js中の同じ内容のポスターのidと同じ。
    - 「ポスターがある発表」だったら、値は：null
* sessionid:セッション番号
  + title：該当発表のタイトル
  + author：ただセッションテーブルで表示するため、ここで、”名前１（所属１）、名前２（所属２）、…”の形になる